

平成25年度共同研究の概要（成果報告書抜粋）

研究種目：一般研究

研究代表者：加藤 博（一橋大学大学院経済学研究科・教授）

研究分担者：長谷川 奏（早稲田大学エジプト学研究所・客員准教授）、岩崎 えり奈（共立女子大学文芸学部・准教授）、松岡 延浩（千葉大学大学院園芸学研究科・教授）、サルワ エルベイ（リモートセンシング空間科学国立研究所・准教授）、藤巻 晴行（鳥取大学乾燥地研究センター・准教授）、サイエド ザグルール（リモートセンシング空間科学国立研究所・教授）

研究題目（和文）：

乾燥地エジプトの灌漑耕作システムの学際的研究

研究概要（和文）：

本課題研究の二年目である今年度、エジプト革命の余波でフィールドでの調査が不可能になったため、これまでに収集したデータと情報を整理し、申請者がその発起人の一人である、2012年に立ち上げられた新しい学会「アジア歴史 GIS 学会」（ANGIS）の第2回 ANGIS 国際会議で、次の三つの成果発表を行った。

1. Hiroshi Kato and Erina Iwasaki, “GIS as a Tool of Linking Different Socioeconomic Spaces : Study of Urban-Rural Migration to Cairo”
2. Kato H., Elbeih S.F., Iwasaki E., Sefelnasr A.M., Shalaby A.A., E.A. Zaghoul, “The Relationship between Groundwater Resources, Land Use, and Demographic Characteristics, Using Remote Sensing and GIS Techniques, Dakhla Oasis, Egypt” .
3. Kotaro Mogi, Hiroomi Tsumura and So Hasegawa, “Quantitative assessment of an irrigation system in Nile Delta based on topographic variables with GIS”